

岐阜農林事務所の普及活動状況

平成30年5月31日現在

今月の重点活動

■えだまめ 県GAP確認制度生産者研修会開催

5月14日、18日の2日におたり、JAぎふ島支店、合渡支店において、JAぎふえだまめ部会員を対象に、県GAP確認制度申請希望者の研修会を開催し、のべ64人の生産者が参加した。

当部会では、今年度中の県GAP確認制度の申請を目標として取り組んでいる。4月の研修会で自己点検を行っており、今回は事前調査で申請希望のあった部会員を対象に、JAぎふ事務局担当者から、管理規則等について説明が行われた。

農業普及課では、今後もJAぎふと連携し、県GAP確認制度の普及推進を図ると共に、GAPの取り組みのステップアップに向けて情報提供等を行っていく予定である。
(園芸産地支援第一係・川部 知)



【研修会の様子】

新たなブランドづくり

■にんじん 市場との情報交換・出荷開始

各務原市園芸振興会にんじん部会では、春夏にんじんの出荷を5月15日から開始し、5月18日に、稼働2年目となるJAぎふ各務原にんじん選果場において、生産者への出荷説明会を開催した。

出荷開始前の5月11日には、同部会長がJA全農岐阜、JAぎふとともに、各中央卸売市場（名古屋本場、北部、岐阜）を訪問し、出荷販売に関する情報交換を実施している。

各市場における情報交換では、出荷販売に関する各種事項（出荷時期・量、品質、価格等）に関する意見交換・確認が行われ、各務原にんじんの出荷開始に対する市場からの高い期待が感じられた。

農業普及課では、春夏にんじんの高品質安定出荷に向け、今後も必要な支援を継続していく。
(地域支援第二係・近藤 徹)



【他産地の着荷状況確認】

多様な担い手づくり

■水田農業 「岐阜市水田農業担い手協議会」研修会開催

岐阜市水田農業担い手協議会では、5月29日、JAぎふアグリパークにおいて研修会を開催し、生産者及び関係者約70人が参加した。平成31年から始まる収入保険制度や、密苗移植による低コスト生産等について説明し、農業者が自らの営農事例（密苗移植）を紹介した。

農業普及課からは、平成30年度に設置する水稻実証ほについて、品種試験や施肥試験等の概要説明を行っており、今後とも担い手の意向を確認しつつ、水田農業の推進を図っていく予定である。
(地域支援第一係・小島康平)

売れるブランドづくり

■いちご 天敵による育苗期のハダニ防除試験開始

いちご栽培では、薬剤抵抗性の発達したハダニによる被害が年々大きくなっており、その対策として2年前より、育苗期から天敵（カブリダニ類）を利用する防除に取り組んでいる。

本年度は、岐阜市、本巣市の11カ所の生産者ほ場において、各種天敵資材や2種のカブリダニの違いによる防除効果を確認するための試験を開始した。

農業普及課では、関係機関と連携して調査を実施し、防除効果や普及性等を検討していく予定である。



【設置した天敵資材】

(園芸産地支援第一係・菊井裕人、三和浩一)

■だいこん **べた掛け資材試験実施**

春だいこんは、秋冬だいこんに比べ、トンネル設置に要する労力とビニール等の資材費負担が大きいと、それに見合う販売単価を確保することが難しいため、生産者から資材費低減と省力栽培方法の確立が求められている。

そこで、農業普及課では、岐阜市園芸振興会だいこん部会と連携して、簡易被覆（べたがけ資材）による試験ほを設置し、こぶ症や抽苔の発生状況について調査を実施してきた。

2月から3月上旬に播種した試験ほで調査した結果、慣行のトンネル栽培等と遜色ない生育が確認できた。来年度以降も、春だいこん品種試験も兼ねて継続試験し、簡易被覆による低コスト安定生産の普及定着に向けて継続支援していく。
(園芸産地支援第一係・高橋幸蔵)



【べた掛け試験ほ場】

■ブロッコリー **目揃え会開催**

5月10日、JAぎふ黒野流通センターにおいて、JAぎふ西部地域春ブロッコリー研究会の目揃え会が開催された。

JA全農岐阜中京市場駐在担当者から、販売情勢の報告、JAぎふ担当者から、出荷要領について説明があり、農業普及課からは、今後の病害虫対策と収穫時の注意点について説明した。

トンネル、べたがけを利用した作型は、4月末から出荷が始まっており、5月中下旬がピークとなり、最終は6月中旬頃の予定である。今後、収穫までの管理、適期収穫に向けて支援することとしている。



【目揃え会の様子】

(地域支援第一係・鈴木郁子)

住みよい農村づくり

■羽島体験プロジェクト **農作業体験イベント開催**

5月20日に、羽島市桑原町において第21回羽島体験プロジェクトのイベントが開催された。

当プロジェクトは、「米づくりから酒づくりまで」をテーマに、毎年会員を募り、年間を通じて数回の体験イベントを開催している。今回は、38人が餅つき、草餅づくり、83人がいちご狩りを体験した。

農業普及課は、いちご品種の説明やいちご狩りの方法について説明をしており、今後も、手植え体験、刈取り体験について支援する予定である。



【いちご狩りの様子】

(地域支援第二係・今井啓司)

■真桑小学校 **「米づくり講習会」開催**

5月22日に、真桑小学校5年生約110名を対象に、「米づくり講習会」が開催され、東海農政局、JAぎふ、農業普及課が講師となり、それぞれの立場から米に関する情報について説明した。

今回は、体験前の講習会として、東海農政局から、米の起源や種類等について、JAぎふから、栽培暦をもとに米の作り方について、農業普及課からは、岐阜県の農業や本県管内の米の品種、田植の方法、稲の生育等について説明した。

今後、6月19日に田植え体験を計画しており、農業普及課から、田植の方法等について支援することとしている。



【講習会の様子】

(地域支援第三係・飯沼清敏)